

# 広報 つきがた

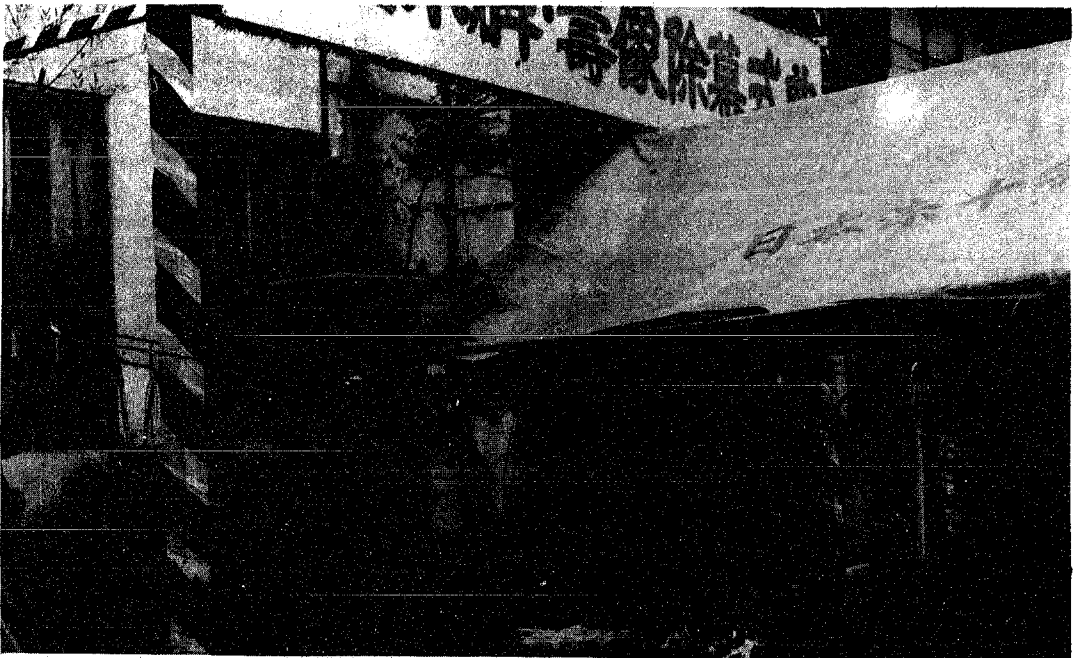
第 49 号

昭和 48 年 12 月

発行

月 潟 村 役 場

人口動態	11月30日現在	世帯数	1,784	人口総数	3,822	11月中の異動	
		(男)	1,844	女	1,978)	出生	11
						死亡	2
						転入	11
						転出	7



## 青柳翁の寿像が建立

よるこびの除幕式  
月潟郷治水の功績

水を治むる者は国を治むるの信条で、村長に就任すると同時に、毎年水で苦しむ月潟郷約八百町歩の土地改良に着手、五ヶ江用水組合長も兼任し治水に精魂を打込み美田を造成した青柳良太郎翁に、月潟郷耕地整理組合と五ヶ江用水組合が感謝の意で寿像建立され、除幕式が11月11日約百五十人の関係者が参列して盛大に行われた。神宮のお抜のあと青柳さんの孫二人の手で綱が引かれ、覆はれていた白布がパツと落ちると、いままにも参列者に話しかけられそうなる青柳さんの胸像が現われ一同盛んな拍手を送った。

胸像は三条市南新保、半藤政南(三代逸我)氏が毎日青柳さんを訪づれ、心血をそそぎ数ヶ月かかって完成したもので、参列者は青柳さんの輝かしい業績を思い浮べ、深々と感謝の気持で頭を下げていられた。

祝賀会は中学校体育館で開かれ、鷲尾西浦原土地改良区理事長ほか来賓者がつきつぎと祝辞を述べられた。

青柳さんは、こんな立派な贈りものを受けて生涯感激は消えませぬ。世間のお役に立つことの出来るのも皆さまの協力あってこそ出来たものです。とよろこびのあいたつをされた。

胸像は月潟郷土地改良区事務所前に建てられ、記念碑正面に、田

中総理大臣の揮毫による「治水雄魂」の四文字がさらに青柳さんに重みを加えております。

建立された寿像に青柳さんを讃えたつぎの碑文が彫みこまれている。

月潟郷の歴史は中之口川の水との戦いであった。

青柳良太郎翁は村長の職にあること十八年、耕地整理組合長、五ヶ江用水組合長を兼任され、困難を極めた月潟郷の治水に粉骨砕身の尽力によりそれまで渡し舟に頼るほかななかつた中之口川に始めて月潟橋が実現した。更に翁は西浦原郡内に懸けて県営治水事業に着手され二千七百七十町歩の田畑を潤し、残水を曲通排水機で川へ還元するという画期的施行を採用、累年の水害を見事に克服した。

次いで区画整理を断行、不毛の地を開墾、従前の地積七百八十町歩を八百八十町歩に増大、中央に県道を直走、さらに今井線を敷設したほか四町歩に渉る学校敷地まで造成されたのである。

これ実に翁の燃ゆるが如き郷土愛と不屈の闘魂によるもの。

茲に月潟郷五ヶ江用水組合は寿像を建立し永くその功績を記念するものである。

青柳良太郎翁寿像建立委員会  
昭和四十八年十一月吉日